

1. 学校協議会

～地域・保護者も学校を運営する時代へ～

大阪市では、教育改革の一つとして、学校、保護者、地域が共に協力し、学校を支えていくために、「学校協議会」という新たな組織が、すべての学校園に設置されています。

平成24年に「大阪市教育局基本条例」、「大阪市学校活性化条例」が成立し、平成25年度に「大阪市教育局振興基本計画」が改訂される等、今、教育改革が進んでいます。その中で、学校を経営していくのは、「学校」と「学校協議会」と「保護者・地域」であると、理念そのものが変更されたのです。

淀川区においても、すべての市立学校園（幼稚園～高等学校、計27校園）で、学期に1回、年3回、学校協議会が開催されています。各校で多くの保護者や地域住民などのみなさんが学校協議会委員として活動され、各学校園の実情に応じて設定される目標や取組内容について、話し合われています。

学校の教育力を高めるためには、「学校」、「学校協議会」、「保護者・地域」の3者が、責任を自覚して連携協力し、それぞれがきちりと役割を果たしていく必要があります。学校は情報を積極的に提供し、保護者・地域のみなさんは、積極的に学校に関心を持ち、自ら学校の運営を支え、具体的に支援していくことが望まれています。

学校の今後のあり方を協議する場として、学校協議会の意義は非常に重要です。多くの教育課題に対し、社会総がかりで取組んでいくことが今、求められています。

みなさんは、お住まいの地域の学校でどのような活動が行われているかご存知でしょうか？学校協議会は原則公開で、活動状況も積極的に公表することとなっています。

是非一度、学校のホームページを見ていただいたり、実際に学校協議会に行ってみたりしてみませんか。



2. 区政を身近に感じてみませんか？淀川区長と車座会議

2月は「[淀川区長と車座会議](#)」を地域で3回開催しました。10日(月)に田川社会福祉会館、14日(金)に三津屋会館、16日(日)に木川南社会福祉会館で行いました。多くの地域のみなさんに参加いただき、ご意見をお



聴きました。

各会議では、地域活動協議会や学校選択制、ごみ問題、福祉タクシー事業、たばこのポイ捨て、防災訓練と備蓄物資の問題など、地域ならではの懸案事項に質問があり、その後意見交換を行いました。

また、もと淀川区役所跡地の開発や、自転車のマナーなどは、複数の地域でご意見が出ました。区民のみなさんの区政への関心の高さがうかがえました。

3月は選挙が予定されていますので一休みさせていただき、4月から未開催の地域での車座会議の開催を精力的に行っていきます。より良い淀川区を作っていくために、みなさんのご参加をお待ちしています！